

海老名市  
スポーツ健康推進計画

最終評価報告書

(スポーツ推進計画部分)

令和6年3月  
海老名市



## 目次

第1章 計画策定の目的.....	1
第2章 計画の期間と見直し.....	2
第3章 計画の体系.....	3
第4章 最終評価の総括.....	4
●スポーツ推進計画 .....	4
1 スポーツに親しむ機会づくり .....	7
1-1 スポーツ活動機会の充実 .....	7
1-2 子どものスポーツ活動の推進 .....	10
1-3 高齢者のスポーツ活動の推進 .....	15
1-4 障がい者のスポーツ活動の促進.....	19
2 スポーツ活動を支える環境・場づくり.....	22
2-1 スポーツ・レクリエーション情報・ネットワーク化の充実 .....	22
2-2 スポーツ・レクリエーションの場の充実.....	24
3 スポーツを通じたつながりと地域づくり.....	28
3-1 スポーツ活動を支える人材の育成と活用 .....	28
3-2 地域のスポーツ・レクリエーション活動との連携.....	32
3-3 競技スポーツの充実.....	34
参考 目標指標と目標値について.....	38

## 第1章 計画策定の目的

高齢化がますます進展していく中、市民がいつまでも健康で明るく、安心して地域生活を営んでいくための、心身の健康や医療に関わる分野における新たな基盤づくりが求められています。そのためには、生活習慣病の予防をはじめ、健全な食生活や適度な運動・スポーツを通じての健康づくり、さらには適切な地域医療体制について、市民のニーズに応えながら、相互に補う形で施策の推進を図っていく必要があります。

本計画は、市民一人一人による、主体的な健康づくりやスポーツ活動への取組を支援するとともに、各種関係機関・団体と行政とが互いに協力しながら、「一市民一スポーツ・レクリエーションの実現とみんなで楽しく健康づくり」という基本理念のもと、心豊かな地域社会の実現を目指していくものとして策定しました。

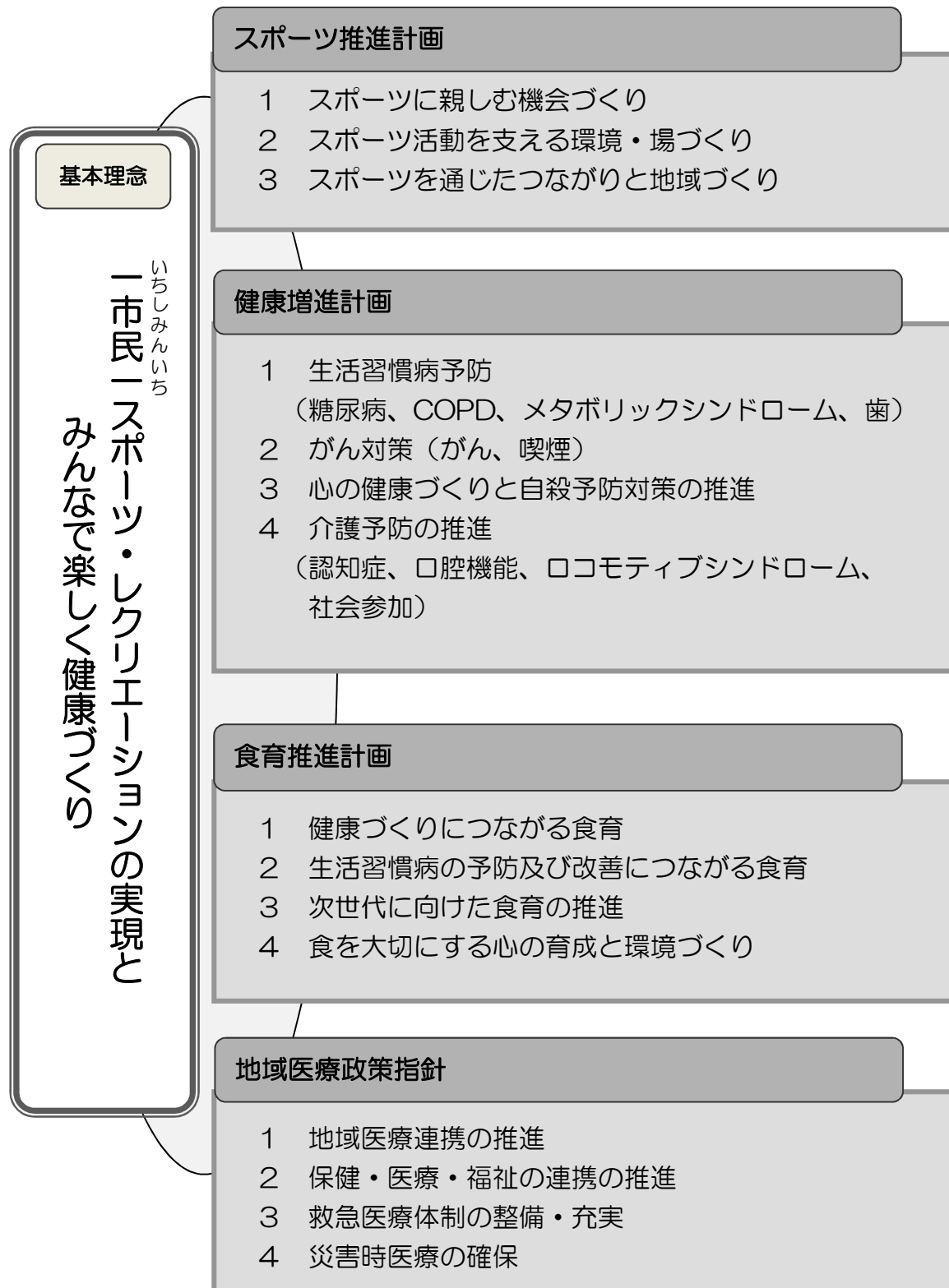
## 第2章 計画の期間と見直し

本計画は、平成25年度に「海老名市基本構想」及び「海老名市第四次総合計画」に基づき、市の保健福祉施策を推進するための地域福祉、障がい者、高齢者・介護保険事業、子育て支援等の各計画や教育委員会の施策等と整合を図り、平成25年度から平成34年度（令和4年度）までの10年間の計画として策定しました。また、計画の中間年度及び最終年度には、取組みの進捗や目標の達成状況の確認、新たな課題の整理を行い、その結果に基づき必要な見直しを行うものとされています。

海老名市第四次総合計画は令和元年度に計画期間が終了し、令和2（2020）年度から令和11（2029）年度までを計画期間とする「えびな未来創造プラン2020」を新たに策定することになりました。

最終年度となる令和4年度に、標記計画の指針となる「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」（以下「健康日本21（第二次）」という。）が令和4年度末までの期間から1年間延長されたため、本計画においても1年間延長し、令和5年度に最終評価を行うこととしました。

## 第3章 計画の体系



## 第4章 最終評価の総括

本評価書では、スポーツ健康推進計画のうち、基本方針である4分野のうちスポーツ推進計画部分の最終評価報告書として評価を実施し、本評価書を作成しました。

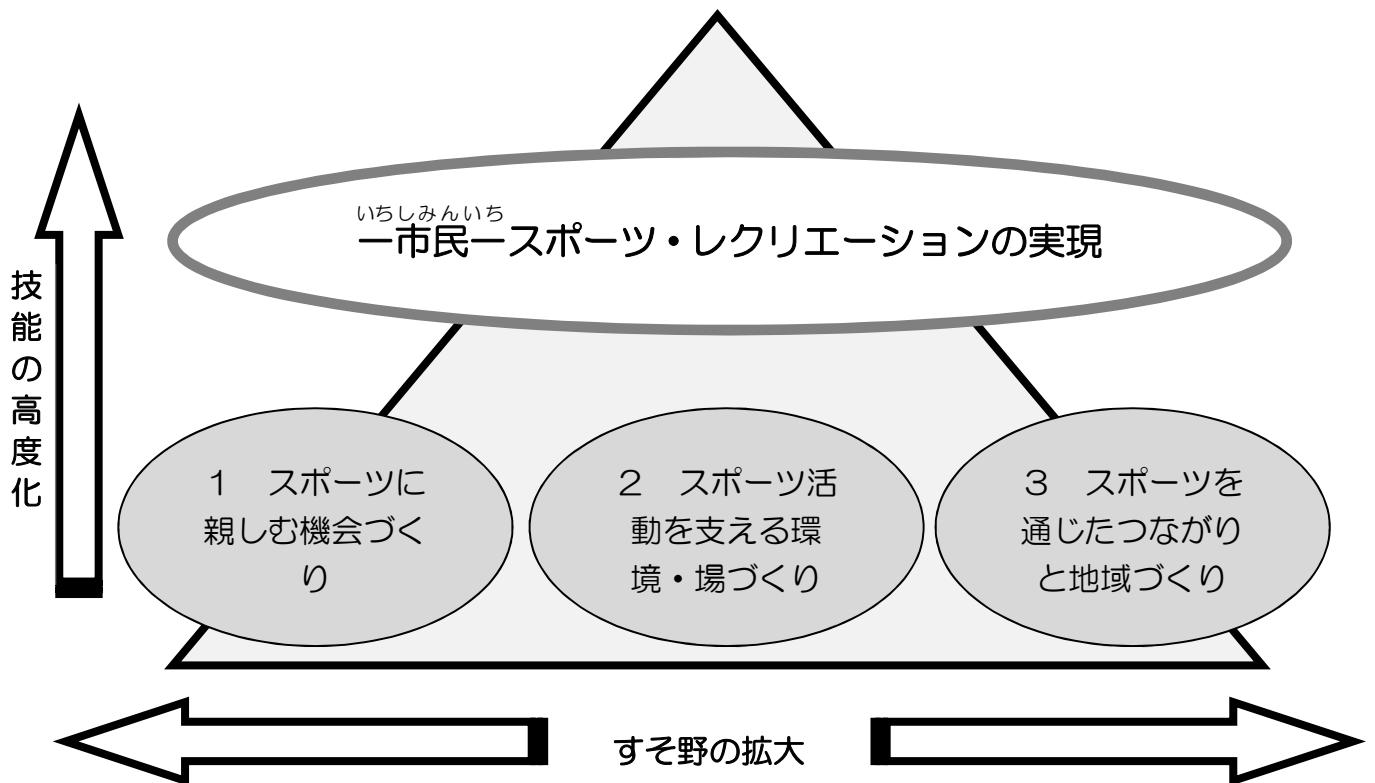
最終評価では、スポーツ推進計画の体系のうち、施策における事業ごとの評価とそれに基づき、施策の方向全体の評価を実施しました。

### ●スポーツ推進計画

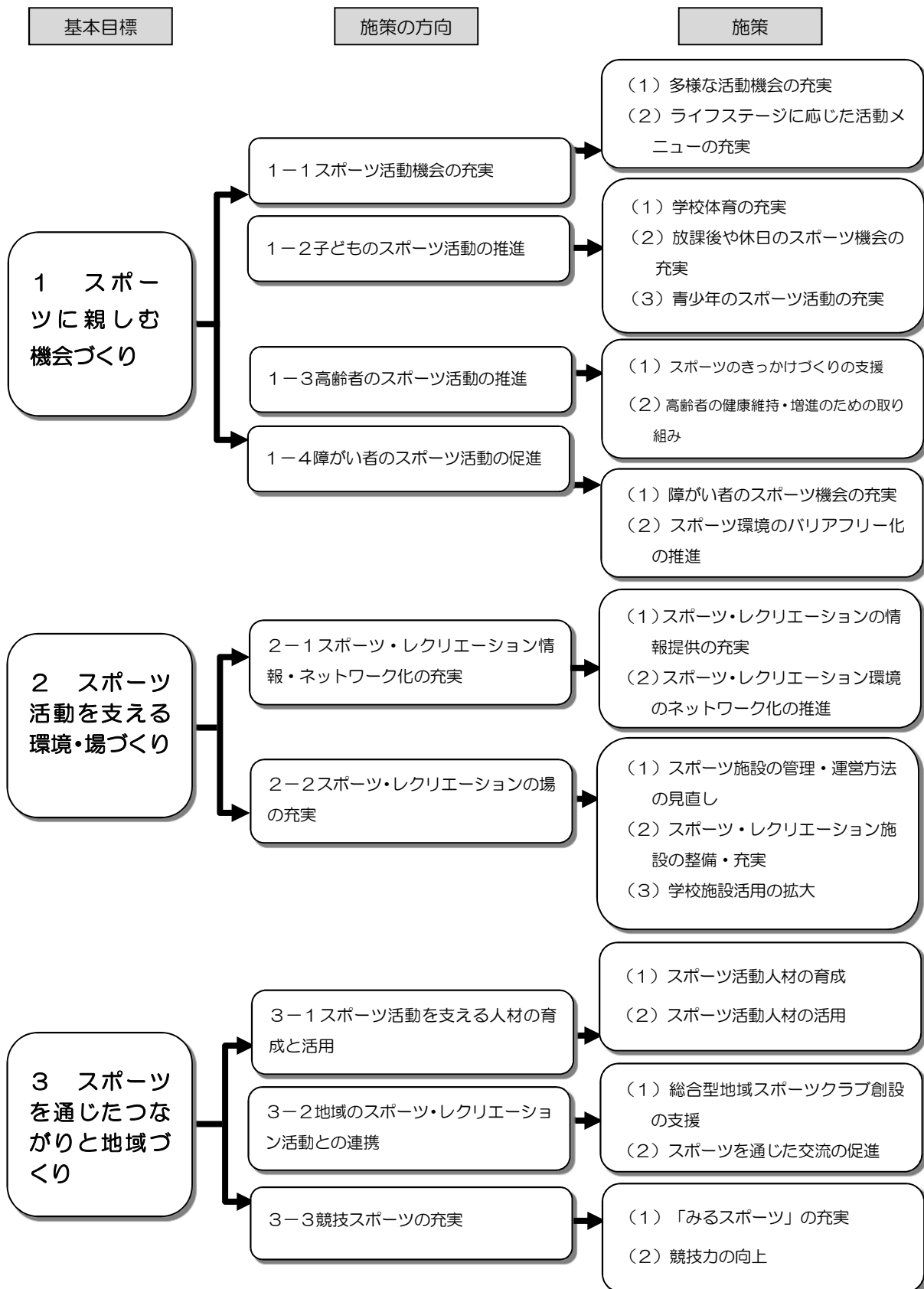
#### スポーツ推進計画の長期目標

令和4年度までの成果目標として、次の目標を設定していました。

- ① 成人のスポーツ実施率3人に2人以上（65%以上）を目指します。
- ② 成人のスポーツ未実施率をゼロに近づけます。
- ③ 海老名市から国際大会に通用する選手の輩出を目指します。



## ■スポーツ推進計画の体系





全20施策47事業のうち「A評価」が0項目、「B評価」が5項目、「C評価」が36項目、「D評価」が6項目、「E評価」が0項目となりました。

●評価基準

A	目標達成以上の成果があった。 (目標達成に向けた施策以外にも事業の充実等のための施策を実施し、目標達成以上の成果があった。)
B	十分に目標を達成した。 (目標達成に向けた施策以外にも事業の充実等のための施策を実施した。)
C	目標を達成した。(目標達成に向けた施策を実施した。)
D	目標を達成したが、不十分な部分がある。 (目標達成に向けた施策を実施したが、施策だけでは不十分な部分があり、実施事業の内容に研究の余地がある。)
E	未達成であった。(目標達成に向けた施策を実施できなかった。)

長期目標①②では、成人のスポーツ実施率を増加させることを目標としていましたが、中間評価後は、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民活動が制限され、在宅時間が増えたことやスポーツ活動が多様化したことなどにより、未達成項目が多くを占めることとなりました。

今後は、既存事業の充実や新たな大会等を実施することを検討し、市民のスポーツに触れ合う機会の充実に努めます。

長期目標③である本市から国際大会に通用する選手の輩出については、オリンピック・パラリンピック代表の選出はありませんでしたが、ドッジボールや空手道などについては、日本代表選手に選出や国際規模の大会に出場する選手の輩出がありました。

また、令和4年度には、「オリンピック強化指定選手報奨金」の運用を見直し、全国大会等に出場した選手に報奨金を交付する「スポーツ選手強化報奨金」制度を創設しました。見直しにより対象者を拡大したことで、見直し前と比較して、より多くの本市の選手に制度を活用いただいております。今後も生涯スポーツの振興、選手の競技力の向上及び選手の競技に係る経済的負担の軽減を図ることを目的に報奨金制度を継続します。

最終評価後の令和6年度からは、国や神奈川県スポーツ推進計画と整合性が取れていることや現計画であるスポーツ推進計画の基本目標を継承するなどの理由から、現計画を継続することを基本とし、施策や事業を整理しながら、基本目標を達成するために、「海老名市スポーツ推進計画」として充実及び強化していくこととします。

# 1 スポーツに親しむ機会づくり

## 1-1 スポーツ活動機会の充実

【考察】 【評価：C】

えびな健康マラソン大会などをはじめとした各種スポーツ大会を毎年開催（新型コロナウイルス感染症の影響により中止した期間を除く。）し、スポーツに触れ合う機会の充実に努めました。

また、「えびなスマデジ宣言（R5.4.1）」を受け、デジタル技術を活用した行政サービス向上への取組みの一貫として、既存の窓口申込だけでなく、海老名市公式 LINE 等を活用したオンライン申込や事業の周知を導入し、スポーツをするきっかけづくりや参加者数の増大を図りました。

一方で、各種スポーツ大会に加え、スポーツ施設指定管理者と連携したスポーツに触れる機会の充実といった面においては、実施回数など不十分である部分もあるため、既存事業の充実や新たな大会等を実施することを引き続き検討します。

### (1) 多様な活動機会の充実

- 各種スポーツ大会の開催等を通じて、多様なスポーツ活動機会の充実に努めます。

事業名		内容
①各種スポーツ大会の開催	平成 24 年度 目標	えびな健康マラソン大会やスポーツ・レクリエーションなど、各種スポーツ・レクリエーション大会を開催し、誰もが気軽に様々なスポーツ・レクリエーションを体験し、参加できる機会の充実に努めます。
	令和元年度 中間評価	<b>【推進状況】</b> レクパラスポーツフェスタやえびな健康マラソン、海老名市駅伝、市民ウォーク等各種スポーツ・レクリエーション大会を毎年開催し、子供から高齢者、障がいのある方も、誰もが気軽にさまざまなスポーツ・レクリエーションを体験し、参加できる機会の充実に努めました。 <b>【今後の取組み】</b> 既存のスポーツイベントばかりでなくニュースポーツ大会等新たなメニューの提案を行い、きっかけづくりや参加者数の増大を図ります。
	令和5年度 最終評価	<b>【最終評価】</b> えびな健康マラソン大会、海老名市駅伝競走大会など各種スポーツ・レクリエーション大会を開催し、誰もが気軽にさまざまなスポーツ・レクリエーションを体験し、参加できる機会の充実に努めました。また、各種事業の見直しを図り、レクパラスポーツフェスタの開催内容の変更や、

		<p>市民ウォークの廃止等を行いました。ニュースポーツでは、バウンスボールの体験会を実施しました。〔評価：C〕</p> <p>【今後の取組み】既存の各種大会の充実や新たな大会等を実施することを検討します。また、窓口申込だけでなく、海老名市公式LINE等を活用したオンライン申込を積極的に行い、引き続きスポーツをするきっかけづくりや参加者数の増大を図ります。</p>
②ファミリー スポーツデー	平成 24 年度 目標	<p>ファミリースポーツデーを設定する中で、施設の無料開放を行い、家族でスポーツに触れ合う機会づくりと、スポーツ活動の推進を目指します。</p>
	令和元年度 中間評価	<p>【推進状況】海老名運動公園、北部公園で毎年計 4 回のファミリースポーツデーを実施し、家族でスポーツにふれあう機会づくりを行いました。利用者数の推移は、平成 28 年度（3,102 人）に対し、令和元年度（2,944 人）でほぼ横ばいです。</p> <p>【今後の取組み】利用者拡充のためにファミリー層向けのプログラム内容の見直しを行い、家族でスポーツに触れ合う機会づくりを充実させます。また、指定管理者と連携し内容、実施日等見直しによる充実を図ります。</p>
	令和5年度 最終評価	<p>【最終評価】ファミリー層向けの事業内容の見直しを図り、ファミリースポーツデーを廃止し、令和4年度より SDGs フェスタを海老名運動公園で開催し、家族でスポーツなどに触れ合う機会づくりの提供を図りました。また、他の指定管理者自主事業として、「子ども水泳教室」「バドミントン教室」「ビューティーヨガ」など 15 事業程度の教室等を開催しました。〔評価：C〕</p> <p>【今後の取組み】SDGs フェスタをはじめとした家族でスポーツに触れ合う機会づくりを充実させます。また、指定管理者と連携し内容、実施日等見直しによる充実を図ります。</p>

## (2) ライフステージに応じた活動メニューの充実

- ライフスタイル・ライフステージに応じたスポーツメニューの充実を促進します。

事業名	内容	
①乳幼児期 からのスポーツ メニューの充実	平成 24 年度 目標	<p>スポーツ施設指定管理者と連携し、乳幼児期からのスポーツ教室やメニューの充実を図ります。</p>
	令和元年度 中間評価	<p>【推進状況】スポーツ施設指定管理者の自主事業として「おむつプール体験会」「親子水泳教室」等を実施しています。</p>

		<p>利用者数は、平成 28 年度から平成 30 年度で「親子水泳教室」は 92 名、92 名、88 名で横ばい。「おむつプール体験会」が 184 名、216 名、226 名と微増しています。</p> <p><b>【今後の取組み】</b>「海老名市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、今後更に人気メニューの充実と新しい提案を指定管理者と連携し進めます。</p>
	令和 5 年度 最終評価	<p><b>【最終評価】</b>スポーツ施設指定管理者の自主事業として「親子水泳教室」等の事業を実施しました。〔評価：C〕</p> <p><b>【今後の取組み】</b>様々なスポーツに触れる機会の拡充が必要であることから、事業メニューの充実と新しい提案を指定管理者と連携し進めます。</p>
②青少年に 適したスポーツ メニューの充実	平成 24 年度 目標	<p>青少年スポーツ教室をはじめ、青少年に適した講座やメニューの充実を図ります。</p>
	令和元年度 中間評価	<p><b>【推進状況】</b>青少年向けスポーツ教室として、指定管理者自主事業「幼児小学生水泳教室」「海老名アスレティクスアカデミー」「ジュニアテニス教室」「カワイ体育教室」を実施しています。</p> <p><b>【今後の取組み】</b>スポーツ教室は充実していますが、スポーツに関する講座の実施率が低いため、今後は、指定管理者と連携し各施設においてメニューの増大、充実を図ります。</p>
	令和 5 年度 最終評価	<p><b>【最終評価】</b>スポーツ施設指定管理者の自主事業として「海老名アスレティクスアカデミー」「カワイ体育教室」等の事業を実施しました。〔評価：C〕</p> <p><b>【今後の取組み】</b>様々なスポーツに触れる機会の拡充が必要であることから、事業メニューの充実と新しい提案を指定管理者と連携し進めます。</p>
③親子でできる スポーツ メニューの充実	平成 24 年度 目標	<p>親子スポーツ教室をはじめ、親子で一緒に参加できる講座やメニューの充実と拡大を図ります。</p>
	令和元年度 中間評価	<p><b>【推進状況】</b>運動公園において、指定管理者の自主事業で親子参加型プログラムとして「親子ふれあい体操」「親子トラップ教室」「カワイ親子教室」を実施しています。</p> <p><b>【今後の取組み】</b>上記プログラムを運動公園他の施設（北部公園等）でも実施し今後も親子で行うスポーツ教室のメニューの拡充と参加者増を図ります。</p>
	令和 5 年度 最終評価	<p><b>【最終評価】</b>スポーツ施設指定管理者の自主事業として「カワイ親子教室」等の事業を実施しました。〔評価：C〕</p> <p><b>【今後の取組み】</b>様々なスポーツに触れる機会の拡充が必要であることから、事業メニューの充実と新しい提案を指定管理者と連携し進めます。</p>

④成人向けの スポーツ メニューの充実	平成24年度 目標	多忙で運動が不足しがちな成人が気軽に参加しやすい成人向けのスポーツ教室やメニューの充実を図ります。
	令和元年度 中間評価	<p>【推進状況】スポーツ施設において指定管理者の自主事業として「スポーツ教室体験会（バドミントン教室）」「健康づくりにつながる生活習慣病予防プログラム（ビューティピラティス）」有料エクササイズプログラムで「X55、ボディパンプ、ボディコンバット」を実施しています。ビューティピラティスは毎年200名以上、有料エクササイズは3,000名を超える人気プログラムです。</p> <p>【今後の取組み】多くの利用者がありますが、今回アンケート結果から、運動不足を感じている20代、30代に向けた参加しやすい実施時間帯を設定し、現在利用していない方へアプローチを行います。</p>
	令和5年度 最終評価	<p>【最終評価】スポーツ施設指定管理者の自主事業として「バドミントン教室」や「エクストリーム55、ボディパンプ、ボディコンバット」などの運動プログラムを実施しました。</p> <p>（評価：C）</p> <p>【今後の取組み】実施時間帯の見直しや検討を図り、現在利用していない方へアプローチを行います。</p>

## 1-2 子どものスポーツ活動の推進

### 【考察】 【評価：C】

スポーツ協会と連携し、少年少女スポーツクラブの育成・支援を継続し、卓球・少林寺拳法といった新たな種目の加入を行い、種目団体への支援、競技種目大会の充実や普及に努めました。

小学生の健康増進と体力の向上を目的として、天候に左右されず、より快適な施設で安全な管理のもとに水泳を楽しんでもらうために実施している屋内プールの無料開放事業では、利用者が横ばいで推移していることから、スポーツ施設指定管理者をはじめとした関係機関と連携を図り、より良い無料券の配布方法や事業の周知などを検討し、利便性向上に努めていく必要があります。

### (1) 学校体育の充実

- 学校体育を通じて、子どものスポーツ・運動の機会の充実を図ります。

事業名		内容
①体力・運動能力 テストの実施と データの活用	平成24年度 目標	定期的に体力運動能力テストとアンケートを実施し、得られたデータの分析を通じて、効果的な取組の実施につなげます。
	令和元年度 中間評価	【推進状況】全国体力・運動能力調査（新体力テスト）、アンケートの結果を分析し、校長会や教育委員会にて提示

		<p>しています。また、各校の体育担当教師が集まる研究会などで調査結果の共有を図っています。</p> <p><b>【今後の取組み】</b> 全国体力・運動能力調査（新体力テスト）の実施方法を正確に伝達するため、各校1名が県主催の研修会に出席するなどして、体力向上のための取組の充実を図ります。</p>
	令和5年度 最終評価	<p><b>【最終評価】</b> 全国体力・運動能力調査（新体力テスト）、アンケートの結果を分析し、各校に情報提供を行いました。各校では、結果を活用して、児童生徒の体力向上に向けての取組みを充実させました。また、県主催の研修会の内容を伝達して、体力向上のための取組の充実を図りました。<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(評価：C)</span></p> <p><b>【今後の取組み】</b> 全国体力・運動能力調査（新体力テスト）、アンケートの結果の分析を今後も継続していきます。児童生徒の体力の変化について調査し、学校に情報提供し、さらなる体力向上の取組の充実を図ります。</p>
②小学校合同の スポーツ大会の 実施	平成24年度 目標	<p>スポーツへの興味や、自己の記録への関心、やる気の増大を図るため、小学校連合運動会を開催します。</p>
	令和元年度 中間評価	<p><b>【推進状況】</b> 小学校連合運動会を毎年実施しています。参加する子どもたちにとって運動に向き合う上でのやる気の醸成につながっています。今年は、保護者の観覧席を新たに設け、児童の活躍を間近で見守ることができるよう工夫しました。</p> <p><b>【今後の取組み】</b> 実行委員会において、実施後の反省をもとに協議し、次年度の方向性や内容を決めて取り組んでいきます。</p>
	令和5年度 最終評価	<p><b>【最終評価】</b> 小学校連合運動会を毎年実施し、参加する児童の運動に向き合う上でのやる気の醸成に繋がりました。新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、実施方法を工夫して取組みを継続しました。内容についても、参加児童や教職員にアンケートを行うなどして、様々な視点からの意見を受けて改善しながら実施しました。<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(評価：C)</span></p> <p><b>【今後の取組み】</b> 今後も実行委員会において、実施後の参加児童や教職員の意見をもとに協議し、方向性や内容について見直しを図ります。</p>

## (2) 放課後や休日のスポーツの機会の充実

- 部活動や放課後の居場所づくり活動を始め、放課後や休日のスポーツ機会の充実を図ります。

事業名	内容	
①部活動の充実	平成 24 年度 目標	指導者の派遣や、市外選手の派遣支援などを通じて、中学校の部活動活性化を推進します。
	令和元年度 中間評価	<p>【推進状況】部活動指導者として、部活動指導員を各学校最大3名で6校に派遣し、部活動支援員と部活動のOB等を中心に各校に配置し、中学校の部活動活性化を推進しています。また、関東以上の大会に出場した場合に、交通費などについての補助金を出しています。</p> <p>【今後の取組み】平成30年度から施行されている「海老名市部活動方針」を踏まえて今後も、内容の検討を行っていきます。</p>
	令和5年度 最終評価	<p>【最終評価】中学校6校に部活動指導員を合計28名、部活動支援員を合計47名配置しており、部活動の活性につながりました。関東規模以上の大会に出場した場合に、交通費などの補助金があることで、積極的な活動につながりました。</p> <p>(評価：C)</p> <p>【今後の取組み】部活動地域移行を含めた今後の本市中学校における部活動の在り方について、検討委員会で方向性や内容について協議を進めてまいります。</p>
②あそびっ子 クラブの充実	平成 24 年度 目標	市内全小学校で、放課後の校庭や体育館を開放し、遊びの場を提供する「海老名あそびっこクラブ」の充実を図ります。また、活動を見守る「パートナー」の育成を推進します。
	令和元年度 中間評価	<p>【推進状況】海老名あそびっこクラブ利用者は、平成24年度は61,850人、平成30年度は60,128人、1日の平均利用者数はどちらも約30人で横ばいです。</p> <p>【今後の取組】今後人口増加による当クラブの利用者増に対応するためパートナーの配置増員、育成を推進します。</p>
	令和5年度 最終評価	<p>【最終評価】令和4年度の利用者数は、41,637人と平成30年度と比べ、大幅に減少し、開催日数も1,894日と平成30年度と比べ100日程度減少しています。新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けましたが、子どもたちにスポーツ機会を提供できるようパートナーを確保し、定期的な開催ができるよう努めました。(事業名の見直し:「海老名あそびっこクラブの充実」から「あそびっ子クラブの充実」)</p> <p>(評価：C)</p>

		<p>【今後の取組み】学校と調整をしながら、定期的な開催ができるよう努めるとともに、大学生等の若者にも参画してもらえるようにしていきます。また、学童保育クラブとの連携についても模索します。</p>
③えびなっ子 スクールの充実	平成 24 年度 目標	夏休み中の「子どもの居場所づくり」を目的として、夏休みの一定期間に学校施設を開放し、児童に学習や遊びの場を提供することにより、「えびなっ子サマースクール」の充実を図ります。
	令和元年度 中間評価	<p>【推進状況】「えびなっ子スクール」（平成 27 年度から改名）では、長期休業中や放課後の体験講座の場として、子どもたちに起震車体験、学校合唱部や吹奏楽部の公演鑑賞や、カローリング、地域の方々による昔遊び等を実施しています。</p> <p>【今後の取組み】今後更に児童への学習、運動、遊びの場として活動の充実、メニューの拡充を図ります。</p>
	令和5年度 最終評価	<p>【最終評価】夏休み期間だけではなく、昼休みや放課後等にもえびなっ子スクールを実施し、子どもたちに様々な体験の場を提供することができました。夏休み以外の参加を検討したことで、より各学校の地域性を生かした取組みとなりました。〔評価：C〕</p> <p>【今後の取組み】あそびっ子クラブとの連携を図りながら、より多くの地域の方、保護者の方に関わってもらい、子どもたちに貴重な体験の場を提供できるようにしていきます。</p>
④屋内プールの 開放	平成 24 年度 目標	夏休み期間中の児童の体力づくりと遊泳中の安全確保を目的に、屋内プールを小学生に無料開放します。
	令和元年度 中間評価	<p>【推進状況】プール利用者は、平成 24 年の 20,623 人に対し平成 30 年度は 15,376 人と大幅に減少しています。</p> <p>【今後の取組み】利用者減の原因究明とニーズを把握し、今後の事業展開について教育委員会、指定管理者と連携を図りながら必要に応じて見直しを図ります。</p>
	令和5年度 最終評価	<p>【最終評価】令和 4 年度の利用者数は、14,178 人と平成 30 年度と比較して横ばいとなっています。市内在住児童を対象とした屋内プール利用無料券を配布し、児童の体力づくりに努めました。〔評価：B〕</p> <p>【今後の取組み】今後の事業展開について、無料開放を継続しつつ、指定管理者をはじめとした関係機関と連携を図りながら必要に応じて見直しを図ります。</p>



### (3) 青少年のスポーツ活動の充実

- 青少年団体の活動支援等を通じて学外における児童・青少年の体力増進を推進します。

事業名	内容
①青少年団体の育成	平成24年度 目標 青少年指導嘱託員、スカウト連絡協議会、青少年健全育成連絡協議会の活動の支援・交流を通じて、青少年のスポーツ活動の充実、青少年の健全育成を図ります。
	令和元年度 中間評価 <b>【推進状況】</b> 各青少年団体は、各地域の祭り・行事、異世代間交流等を通して青少年の健全育成を図っています。 <b>【今後の取組】</b> 各青少年団体には、活動補助金等によって支援を行い青少年のスポーツ活動の進展を図ります。
	令和5年度 最終評価 <b>【最終評価】</b> 新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの団体で活動が制限されましたが、地域に根差した様々な活動を通じて、青少年の健全育成を図っています。 (評価：C) <b>【今後の取組み】</b> 担い手不足等の課題について、各団体と協議しながら、青少年スポーツ活動の充実を図れるよう支援していきます。
②少年少女スポーツクラブの育成・支援	平成24年度 目標 子どもの健全育成とスポーツ活動の底上げに向けて、少年少女スポーツクラブの育成・支援を行います。
	令和元年度 中間評価 <b>【推進状況】</b> 活動中のスポーツクラブの紹介や円滑なクラブ運営を行うため、体育協会と連携し支援を行っています。 <b>【今後の取組み】</b> 各少年少女スポーツクラブの育成と新たなスポーツクラブの加入促進のため、少年少女スポーツクラブ活動のPR強化による支援を図ります。
	令和5年度 最終評価 <b>【最終評価】</b> 活動中のスポーツクラブの紹介や円滑なクラブ運営を行うため、スポーツ協会と連携し支援を行い、新規種目（卓球・少林寺拳法）の加入を行いました。 (評価：C) <b>【今後の取組み】</b> 引き続き少年少女スポーツクラブ活動のPR強化による支援継続を図ります。

### 1-3 高齢者のスポーツ活動の推進

【考察】 【評価：C】

市内の高齢者（65歳以上）の屋内プール及びトレーニング室の利用促進、高齢者の介護予防、健康の維持及び推進を図ることを目的に、「元気65」助成事業（屋内プール及びトレーニング室の利用料金を半額）を継続して実施しました。

また、令和4年度に北部公園体育館の全トレーニング機器を更新、令和5年度には、海老名運動公園総合体育館のトレーニング機器の新規追加など、トレーニング室の利便性向上に努めました。

引き続き、利用状況に応じて、機器の更新や追加を行い、高齢者のスポーツ施設の利用を促進します。

#### (1) スポーツのきっかけづくりの支援

- 高齢者が各自の状況に応じて無理なくスポーツ活動に取り組めるよう、グラウンドゴルフやニュースポーツなどへの参加を推進します。
- 気軽に楽しくスポーツ施設を利用してもらえるよう、高齢者の施設利用において経済的な負担軽減を図ります。

事業名		内容
①高齢者向け スポーツの 推進	平成24年度 目標	高齢者を含むスポーツ団体と連携し、グラウンドゴルフやニュースポーツ等、高齢者が取り組みやすいスポーツメニューの提供を通じて、高齢者のスポーツ活動の支援・充実を図ります。
	令和元年度 中間評価	<p>【推進状況】 高齢者が取り組みやすいスポーツとして、グラウンドゴルフ、ターゲットボードゴルフ、カローリング、スカットボール等の競技会を、ゆめクラブ連合会を通じて実施しています。</p> <p>【今後の取組み】 今後も気軽に高齢者がスポーツに参加できるよう、ゆめクラブの事業を支援し、提供するスポーツメニューが充実するよう引き続き検討していきます。</p>
	令和5年度 最終評価	<p>【最終評価】 高齢者の生きがいづくりや、健康増進を目的としたグラウンドゴルフ等の高齢者向けスポーツについて、開催を海老名ゆめクラブ連合会に委託し、普及啓発に努めました。【評価：C】</p> <p>【今後の取組み】 引き続き、海老名ゆめクラブ連合会を通じて、継続した普及啓発活動に加え、新たなスポーツの検討も行っていきます。</p>

②ニュー スポーツの 推進	平成 24 年度 目標	県の老人クラブ連合会などから情報収集をし、高齢者や障がいのある人も取り組みやすいニュースポーツの実施を周知・支援します。
	令和元年度 中間評価	<p>【推進状況】 ニュースポーツとしてスカットボールの競技会を実施しており、定着しつつあります。</p> <p>【今後の取組み】 ゆめクラブを通じて各種ニュースポーツ競技会等を実施しており、今後も多くの高齢者が参加できるよう周知方法の検討や引き続き支援を行っていきます。</p>
	令和5年度 最終評価	<p>【最終評価】 ゆめクラブを通じて、会員に限定せず広くスカットボールの参加者を募りながら、同競技の普及に努めています。〔評価：C〕</p> <p>【今後の取組み】 引き続き、ゆめクラブによる普及・啓発に努めながら、競技種目について、同クラブを通じて検討していきます。</p>
③高齢者の スポーツ施設 利用の促進	平成 24 年度 目標	高齢者の体力の低下防止と健康の保持・増進を図ることを目的として、プール利用料やトレーニング機器利用料の助成を行います。
	令和元年度 中間評価	<p>【推進状況】 助成事業の見直しがありましたが、ピナスポの設置によって、高齢者のスポーツ施設利用は進んでいます。特に水泳は身体への負担が少なく、また日常生活であまり動かすことのない筋肉を使うため、高齢者健康維持等においてプール利用が定着しつつあります。</p> <p>【今後の取組み】 今後も高齢者の体力低下防止と健康維持・増進のため引き続き支援を図っていきます。</p>
	令和5年度 最終評価	<p>【最終評価】 新型コロナウイルス感染症拡大により、令和元年10月30日～令和2年9月30日の間は、高座温水プール施設は休館となりました。令和4年は、例年の半分ほど利用があり、対策緩和や感染症法上の「5類への移行」などにより、令和5年度からは、利用者も戻りつつあります。〔評価：B〕</p> <p>【今後の取組み】 「水中」を利用した運動は、足腰への負担も少なく、健康の維持・増進につながることから、助成事業を継続します。</p>

## (2) 地域毎のスポーツ環境の整備促進

- えびな市民活動センターの交流館やレクリエーション館をはじめとする、身近な地域で高齢者が親しみやすい簡易なスポーツを普及するなど、地域毎のスポーツ環境の充実を図り、健康維持、介護予防、認知症予防等を推進します。

事業名		内容
①一般高齢者 向け介護予防 事業の充実	平成 24 年度 目標	えびな市民活動センターやコミュニティセンター、自治会館など、身近な施設を利用して、認知症予防の教室や、転倒予防や筋力アップのための体操教室など、高齢者の健康維持、増進に向けた取組の充実を図ります。
	令和元年度 中間評価	<p><b>【推進状況】</b>平成 29 年 4 月 1 日から介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）が始まり、これまで「介護予防事業（一次予防事業）」として実施していた事業は、一般介護予防事業となり、65 歳以上のすべての方とその支援のための活動に関わる方が対象となりました。</p> <p><b>【今後の取組み】</b>身近な施設等を利用して、介護予防を目的とした運動指導、寝たきりや認知症の予防、健康づくりなどを実施して高齢者が自分に合った健康づくりに積極的に取り組めるよう支援します。</p>
	令和 5 年度 最終評価	<p><b>【最終評価】</b>身近な施設等を利用して事業を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、開催回数や利用人数の制限を行ったため、参加者は減少しました。令和 4 年度からは、利用者も戻りつつあります。〔評価：C〕</p> <p><b>【今後の取組み】</b>市民が利用しやすい施設を検討し、運動機能の向上、寝たきりや認知症の予防、オンラインを利用した介護予防事業などを実施し、高齢者が自ら積極的に健康づくりに取り組めるよう支援します。</p>
②介護予防 プログラムの 充実	平成 24 年度 目標	えびな市民活動センターやコミュニティセンター、自治会館など、身近な施設を利用して、元気度チェックリストの基本チェックリスト結果により、介護予防プログラムへ参加することが望ましいと判定された方を対象に、運動コース（体操・マシン）や、水中ウォーキング教室など、運動器の機能を向上させるプログラムの提供を行います。
	令和元年度 中間評価	<p><b>【推進状況】</b>平成 29 年 4 月 1 日から介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）が始まり、これまで「介護予防事業（二次予防事業）」として実施していた事業は、介護予防・生活支援サービス事業となり、要介護認定で要支援に認定された方及び元気度チェックリストにより総合事業の対象者と判定された方が対象となりました。</p> <p><b>【今後の取組み】</b>地域包括支援センターが行う「介護予防ケアマネジメント」に基づいて、地域の身近な施設等を利用して、専門職による運動機能向上、口腔機能向上、栄養改善、認知症予防の支援サービスを提供し、その方に適した支援を行</p>

		います。
	令和5年度 最終評価	<p><b>【最終評価】</b>総合事業の通所型サービスCでは全13日間の複合型の教室を年間3コース実施しています。送迎もあるため非常に人気のある教室で、毎回定員を割ることなく実施しています。〔評価：C〕</p> <p><b>【今後の取組み】</b>より多くの市民の参加を促す目的で、令和6年度からは、10日間4コースを増やして実施します。</p>
③疾病予防 メニューの 充実	平成24年度 目標	えびな市民活動センターやコミュニティセンター、自治会館など、身近な施設を利用して、高齢者の疾病予防に向けて、身近な施設での運動教室や相談を行います。
	令和元年度 中間評価	<p><b>【推進状況】</b>いきいきとした生活を続けるためには、元気なうちからの介護予防の取組が重要です。地域の身近な施設等を利用して、活動している高齢者のグループ(サロン等)向けに、元気な頃から取り組めるように、「健康づくり」や「介護予防」に関する出前講座を実施して、自身が積極的に取り組めるよう支援します。テーマに応じて、保健師・看護師、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士、健康運動指導士などを派遣します。</p> <p><b>【今後の取組み】</b>健康の保持増進と心身機能の低下防止、関係機関との相互連携により、疾病予防及び在宅生活の支援を図ります。</p>
	令和5年度 最終評価	<p><b>【最終評価】</b>「健康づくり」や「介護予防」に関する出前講座を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、出前講座などの依頼が減少しました。〔評価：C〕</p> <p><b>【今後の取組み】</b>新型コロナウイルス感染症拡大により休止していた地域サロンが再開しつつあるため、「健康づくり」や「介護予防」に関する出前講座を実施し、自身が継続して取り組めるよう支援します。</p>

## 1-4 障がい者のスポーツ活動の促進

【考察】 【評価：C】

海老名運動公園総合体育館・屋内プールのトイレを洋式に変更（令和元年度）するとともに障がい者にも利用しやすい「みんなのトイレ」仕様に対応し、施設のバリアフリー化・利便性向上を図りました。

また、海老名運動公園総合体育館外装改修工事（令和4年度）に合わせて、地面の不陸整正や外階段の手摺の新設等を行いました。

一方で、海老名運動公園野球場などをはじめとする施設では、老朽化等の影響により、バリアフリー整備が不十分であることから、施設の改修時には、効果的・効率的なバリアフリー整備の検討を行う必要があります。

### (1) 障がい者のスポーツ機会の充実

- 障がいのある方が気軽にスポーツ活動に取り組めるよう、メニューや参加機会の充実を図ります。

事業名		内容
①スポーツ大会への参加促進	平成24年度 目標	障がい者によるスポーツ大会等への参加を支援し、活動の場の拡大と障がい者相互の交流を図ります。
	令和元年度 中間評価	<p>【推進状況】座間市と合同で、毎年6月に「二市合同障害者運動会」を開催しています。また市事業として毎年10月に「レクパラスポーツフェスタ」を開催し、障がい者のスポーツ参加を支援しています。「神奈川県障害者スポーツ大会」では、参加者の支援策として、送迎と引率を行っています。</p> <p>【今後の取組み】引き続き各スポーツ大会の参加を促進します。</p>
	令和5年度 最終評価	<p>【最終評価】令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響により、約2年間、各スポーツイベントの実施を自粛することとなりましたが、令和4年度に「レクパラスポーツフェスタ」を再開し、障がい者が気軽にスポーツと触れ合える機会を設けてきました。「県スポーツ大会」においては、ポスター等での参加周知及び参加者支援のための送迎を実施し、全ての競技について参加実績がありました。なお、全国スポーツ大会の出場実績もあり、本大会を通して、障がい者にとって大きな達成感や健康増進に繋がったと評価します。座間市と合同で行っていた「二市合同障害者運動会」については、令和2年度のイベントの自粛以降実施していません。</p> <p>【評価：C】</p> <p>【今後の取組み】「レクパラスポーツフェスタ」については、</p>

		今後「パラスポーツフェスタ」として実施し、より障がい者が参加しやすいイベントとなるように事業検討を行います。 「県スポーツ大会」については、引き続き、大会参加に係る周知及び参加者支援のための送迎を行います。これまで実施してきた「二市合同障害者運動会」については、今後、規模を拡大し、複数の市町村で実施できるよう検討していきます。
②ニュー スポーツの 普及・啓発	平成 24 年度 目標	障がい者が気軽に参加できるスポーツであるフライングディスクの普及等を図ります。
	令和元年度 中間評価	<b>【推進状況】</b> 「二市合同障害者運動会」でフライングディスクを競技種目として実施。ボッチャの貸出しを行っています。 <b>【今後の取組み】</b> 引き続きニュースポーツの普及・啓発を図ります。
	令和5年度 最終評価	<b>【最終評価】</b> 「レクパラスポーツフェスタ」でフライングディスク、ボッチャ、ゲーリングなど様々なパラスポーツの体験を実施し、また、ボッチャの市民への貸出しを行いました。 <b>（評価：C）</b> <b>【今後の取組み】</b> 「パラスポーツフェスタ」として、フライングディスク、ボッチャ、ゲーリング等の体験のほか、車いすを使った簡単な遊び体験を行い、車いすスポーツに対する関心や興味の向上を図ります。また、引き続き、市民へのボッチャの貸出しを行います。

## (2) スポーツ環境のバリアフリー化の推進

- 障がいの有無や健康状態などに関わらず、誰でも気軽に活動に参加できるよう、施設や公共の場等のバリアフリー化を推進します。

事業名	内容	
①スポーツ施設の バリア フリー化	平成 24 年度 目標	スポーツ施設の新設や改修に合わせ、段差を解消するスロープの導入や障がい者用トイレの設置などのバリアフリー化を行い、誰もが利用しやすいスポーツ施設の整備を推進します。
	令和元年度 中間評価	<b>【推進状況】</b> 施設新設・改修時のバリアフリー化、海老名運動公園のトイレの洋式化等を行いました。 <b>【今後の取組み】</b> バリアフリー整備等が不十分な箇所を、利用者の意見聴取や現地調査によってバリアの所在を明らかにし、効果的・効率的な対応を図ります。
	令和5年度 最終評価	<b>【最終評価】</b> 海老名運動公園総合体育館・屋内プールトイレの洋式化等を行いました。 <b>（評価：D）</b>

		<b>【今後の取組み】</b> バリアフリー整備等が不十分な施設があることから該当施設に対して効果的・効率的な対応を図ります。
--	--	---



## 2 スポーツ活動を支える環境・場づくり

### 2-1 スポーツ・レクリエーション情報・ネットワーク化の充実

【考察】 **【評価：C】**

各種スポーツ大会の開催時には、広報えびなやホームページにて周知を図り、市内市外を問わず広報活動を継続して行いました。

広報活動の充実にあたっては、ホームページのアクセス数が増えていることから、今後も積極的な活用を継続します。また、各種スポーツ大会の充実や新たな大会等の開催検討に合わせ、デジタル技術の活用なども踏まえ、周知先など新しいPR強化を図り、情報発信を促進します。

また、相模川沿いにおける、スポーツ・レクリエーション事業の充実においては、河原口高水敷の暫定整備が終了したことから、環境の整備を積極的に進めるために、今後、新たに広場を整備します。

#### (1) スポーツ・レクリエーションの情報提供の充実

- イベントや講座、施設利用に関する事項など、スポーツ・レクリエーションに関する情報提供の充実を図ります。

事業名		内容
①公共施設利用 予約システム の活用	平成24年度 目標	神奈川県電子自治体共同運営サービスとして運用されている公共施設利用予約システムを活用し、スポーツ・レクリエーション情報のネットワーク化の促進を図ります。
	令和元年度 中間評価	【推進状況】神奈川県電子自治体共同運営サービスの公共施設利用予約システムの整備は進んでおり、利用者にも浸透が進み、利用者の利便性を高めています。 【今後の取組み】同システムを今後も有効に活用し、更に利用促進を図ります。
	令和5年度 最終評価	【最終評価】神奈川県電子自治体共同運営サービスの公共施設利用予約システムの整備は進んでおり、利用者にも浸透が進み、利用者の利便性を高めています。 <b>【評価：D】</b> 【今後の取組み】同システムを今後も有効に活用するとともに、他システムの活用についても研究し、更に利用促進を図ります。
②広報活動の充実	平成24年度 目標	市のホームページや、生涯学習ガイド等を活用し、スポーツ・レクリエーション関連情報の広報を充実します。
	令和元年度 中間評価	【推進状況】広報えびなでは、ほぼ毎月スポーツ関連情報を掲載するなど、広報活動の充実を図りました。「市スポーツ関連ホームページアクセス数」の中間値結果は、平成24年度調査と比較し17,000件以上増え、スポーツ関連事業の情

		報を、市民がホームページから得る機会が増加しています。 【今後の取組み】 今後は更にホームページの積極的な活用、新しい情報伝達コンテンツの開発、PR の強化を図り、情報発信を促進します。
	令和5年度 最終評価	【最終評価】 広報えびなでは、スポーツ関連情報を掲載するなど広報活動の充実を図りました。また、各スポーツイベントの実施にあたっては、ホームページの他に、市公式 LINE や facebook、instagram といった SNS も活用し、周知を図りました。(評価：C) 【今後の取組み】 ホームページのアクセス数が増えていることから今後も積極的な活用を継続し、新しい情報伝達コンテンツの開発や PR の強化を図り、情報発信を促進します。

## (2) スポーツ・レクリエーション環境のネットワーク化の推進

- スポーツ・レクリエーション施設のネットワーク化を通じて、市民が気軽にスポーツ・レクリエーション活動に参加できる環境づくりを進めます。

事業名	内容	
①相模川海老名スポーツ施設ネットワーク事業の推進	平成24年度 目標	神奈川県と連携し、県立三川公園・河原口高水敷・海老名運動公園・中野多目的広場等を、サイクリングロードなどで一体的に整備することで、相模川沿いのスポーツ・レクリエーションゾーンとして市民のスポーツ・レクリエーション活動の環境づくりを進めます。
	令和元年度 中間評価	【推進状況】 さがみグリーンライン自転車道の整備が進み、海老名運動公園と中野公園が直線的につながりました。相模川沿いの上記施設の連携が取りやすい環境が整いつつあります。また、取水堰人道橋の開通による広域的なスポーツ施設利用の更なる拡大が推察されます。 【今後の取組み】 今後も同自転車道の完成に伴い、基盤が整ったところで連携事業を推進し、スポーツ・レクリエーション活動の拡充を図ります。
	令和5年度 最終評価	【最終評価】 さがみグリーンライン自転車道の整備が進み、海老名運動公園と中野公園が直線的につながり、相模川沿いの上記施設の連携が取りやすい環境が整いつつあります。(評価：C) 【今後の取組み】 河川敷の暫定整備が終了したことから、スポーツ・レクリエーション活動の拡充を図るため、新たに広場を整備します。

## 2-2 スポーツ・レクリエーションの場の充実

### 【考察】 【評価：C】

施設を適正に管理し利用者の安全を確保するため、北部公園体育館の排煙窓の修繕を令和元年度に実施しました。

また、建築後 30 年が経過した海老名運動公園総合体育館の外装改修工事（令和 4 年度）を行い施設の長寿命化を図りました。工事では、劣化診断等を行い、より強度の高い外装への改修や、老朽化した照明の LED 化、雨漏り等の修繕を実施しました。

一方で、他のスポーツ施設においては、老朽化が引き続きの課題であることから、公共施設再編適正化計画等を踏まえながら、施設の再配置等を含め、早急な整備を実施します。

### (1) スポーツ施設の管理・運営方法の見直し

- 市民が安心してスポーツ活動に取り組めるように、スポーツ施設等の適切な管理・運営の見直し・改善を行います。
- より多くのスポーツ機会の提供に向けて、スポーツ施設の効率的な利用の促進を図ります。

事業名		内容
①スポーツ施設の管理・運営	平成 24 年度 目標	安全で快適なスポーツ施設の利用に向けて、施設の適切な管理・運営を図ります。
	令和元年度 中間評価	<p>【推進状況】 指定管理者による適切な管理・運営が行われています。月一回のモニタリングで問題の改善を迅速に図っています。</p> <p>【今後の取組み】 乳幼児から高齢者まで、障がいのある方も安全で快適かつ効果的なスポーツ活動を行い、利用した方がまた足を運びたいような管理・運営を図ります。</p>
	令和5年度 最終評価	<p>【最終評価】 指定管理者による適切な管理・運営が行われています。月一回のモニタリングで問題の改善を迅速に図っています。施設ホームページのデザインを刷新し、利便性向上を図りました。また、安全なスポーツ活動を行うため、海老名運動公園総合体育館の外装を改修しました。【評価：C】</p> <p>【今後の取組み】 引き続き乳幼児から高齢者まで、障がいのある方も安全で快適かつ効果的なスポーツ活動を行えるよう適切な管理・運営を図り、修繕工事等を実施します。</p>
②スポーツ施設の効果的な運用	平成 24 年度 目標	利用者のニーズに合わせた利用日や利用時間の設定など、スポーツ施設の効果的な運用の促進を図ります。
	令和元年度 中間評価	<p>【推進状況】 利用日、利用時間等の利用者のニーズを少しでも把握するため「施設ご利用アンケート」をとり、要望に対する改善・改良を図っています。</p> <p>【今後の取組み】 利用者からのニーズの聞き取りに更に力を</p>

		入れ、スポーツ施設の運営に生かします。特に運動する機会が十分ではないと感じている 20 代、30 代が利用しやすい環境づくりを検討します。
	令和5年度 最終評価	<p><b>【推進状況】</b> 施設利用者アンケートを取り、要望に対する改善・改良を諮りました。比較的利用者が少ない年末年始の休館日を増やし、毎月の休館日を減らしました。海老名運動公園の公式 LINE を開設し、各種情報の発信を行い、20 代、30 代が利用しやすい環境づくりに努めました。〔評価：C〕</p> <p><b>【今後の取組み】</b> 引き続き利用者からのニーズの把握に力を入れ、スポーツ施設の運営に生かします。</p>

## (2) スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実

- 公共施設等、スポーツ活動を行う場の充実を図ります。
- 市民が身近にウォーキングなどの運動に取り組めるように公園やウォーキングロード等の整備充実を図ります。

事業名		内容
①えびな市民 活動センター の整備	平成 24 年度 目標	健康増進施設の整備を通じて、市民がスポーツ活動を行う場の充実を図ります。
	令和元年度 中間評価	<p><b>【推進状況】</b> えびな市民活動センターは、平成 26 年 11 月に開館し、管理運営は指定管理者により行われています。自主事業以外にも多目的室の公開施設利用やトレーニングルーム、プールの利用などと合わせて、年間約 260,000 人の方に利用していただいています。その他、指定管理者による約 50 種類の自主プログラムや小学生以下対象の教室を開き、参加率に応じて、回数やプログラムの種類を増やし、健康増進の機会を提供しています。</p> <p><b>【今後の取組み】</b> 今後は、年間利用者数 270,000 人を目標とし、幅広く利用していただける自主事業の拡充や環境づくりに向けて、整備を進めていきます。</p>
	令和5年度 最終評価	<p><b>【最終評価】</b> 指定管理者制度による民間事業者のノウハウを活用することで、多くの市民のご利用により、利用者アンケートの結果等などでは、高い評価をいただいていることから、本市の健康増進施設として、スポーツ活動等を行う場の充実が図られたと認識しています。〔評価：B〕</p> <p><b>【今後の取組み】</b> 現行サービスを継続して提供するため、施設の適切な維持・管理に努めるとともに、変化していく利用者ニーズを的確に把握し、さらなるサービス向上に努めます。</p>

②運動公園・北部公園の整備	平成24年度 目標	運動公園や北部公園等の施設・設備の整備を通じて、スポーツ・レクリエーション活動の場の充実を図ります。
	令和元年度 中間評価	<p>【推進状況】本市の運動施設の拠点として多くの市民にご利用いただいています。施設の整備は、指定管理者と連携し利用者のニーズ第一の整備を行っています。</p> <p>【今後の取組み】幼児から高齢者まで、本市の運動施設の拠点として、時代に沿った適切な整備を進めます。また、利用者に満足いただける抜本的な再整備計画も視野に入れた整備を図ります。</p>
	令和5年度 最終評価	<p>【最終評価】本市の運動施設の拠点として多くの市民にご利用いただいています。建築後30年が経過した海老名運動公園総合体育館の外装改修工事を行い、整備を進めました。</p> <p>(評価：D)</p> <p>【今後の取組み】公共施設再編適正化計画等を踏まえ、整備を図るとともに、スポーツ施設においては、老朽化が喫緊の課題であるため、再配置を含め早急な整備が必要です。</p>

### (3) 学校施設活用の拡大

- 身近なスポーツや交流の場として、学校施設の積極的な開放と活用を行います。

事業名	内容	
①学校施設の開放	平成24年度 目標	小中学校における休日等の運動場や体育館の開放を周知し、利用者増を促すとともに、夜間の照明付運動場の開放等、学校のスポーツ施設の活用を図ります。
	令和元年度 中間評価	<p>【推進状況】市内小中学校19校の体育館開放及び夜間照明付グラウンドの開放について、ホームページで掲載し、利用者増につながっており、学校のスポーツ施設の活用を図ることができています。</p> <p>【今後の取組み】今後も周知等を行い、学校のスポーツ施設の活用を進めていきます。</p>
	令和5年度 最終評価	<p>【最終評価】学校のスポーツ施設については、教育活動に支障ない範囲において一般開放し、積極的な活用を図りました。(評価：C)</p> <p>【今後の取組み】引き続き、ホームページで周知を図り、より多くの方に利用していただけるよう取り組んでいきます。</p>
②小学校校庭の芝生化	平成24年度 目標	子どもたちがのびのびと運動できる環境づくりに向けて、小学校校庭の芝生化を進めます。
	令和元年度	【推進状況】小学校10校で校庭等の一部を芝生化しています。

	中間評価	<p><b>【今後の取組み】</b> 芝生化されている学校については、維持管理を行っていき、小学校の校庭の芝生化について今後も研究していきます。</p>
	令和5年度 最終評価	<p><b>【最終評価】</b> 校庭芝生化は芝の生育状況等を考慮した上で事業を見直し、小学校6校で重点整備を実施しました。芝生エリアは、児童の学習の場、遊びの場としての役割を担っています。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(評価：D)</span></p> <p><b>【今後の取組み】</b> 今後も、適正な維持管理に努め、学校の特色として芝生エリアを活用していきます。</p>

### 3 スポーツを通じたつながりと地域づくり

#### 3-1 スポーツ活動を支える人材の育成と活用

【考察】 【評価：C】

本市の文化スポーツの発展に貢献した方、顕著な成績を収めた方を称え、更に活動に取り組んでもらうため、「海老名文化スポーツ賞」を制定し、授賞式を継続して実施しました。

令和元年度には、ラグビーワールドカップ出場国であるロシア代表チームの公認キャンプ地として受け入れを行い、おもてなしを目的としたボランティアグループ「えびなラグビーサポーター」を組織し、市民のスポーツに対する関心を高めました。

一方で、各種スポーツ活動を支えているスポーツ推進委員協議会・スポーツ協会各競技団体においては、活発に活動を行っていますが、各団体共、団体員の高齢化が進んでおり、更なる発展を目指し、世代交代等による活性化を図る必要があります。

##### (1) スポーツ活動人材の育成

- 講座の実施等を通じて、スポーツボランティアの育成を図ります。
- 市のスポーツ活動に貢献した人を表彰することで、スポーツ活動の振興を図ります。

事業名	内容	
①研修会・講習会 を通じた 資質向上	平成24年度 目標	神奈川県、神奈川県体育協会が開催する各種研修会・講習会等へ、スポーツ推進委員や各種競技団体指導者に積極的に参加してもらえよう、情報提供等に努めるとともに、参加のための支援を行います。
	令和元年度 中間評価	<p><b>【推進状況】</b>市スポーツ事業の主体的な運営にあたる海老名市スポーツ推進委員協議会は、神奈川県、県央ブロック等の各種研修会に積極的に参加し、貴重な情報、経験を得て市事業にフィードバックさせています。</p> <p><b>【今後の取組み】</b>有識者を招いての研修会、講演会等を開催しており今後も継続していきます。また、今後研修成果の検証を各回行い、効果を最大限に生かしていきます。</p>
	令和5年度 最終評価	<p><b>【最終評価】</b>スポーツ推進委員は、神奈川県、県央ブロック等の各種研修会に積極的に参加し、貴重な情報、経験を得て市事業にフィードバックさせています。令和2年度には、スポーツ推進活動に尽くした功績に対し、委員が文部科学大臣表彰を受賞しました。<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">【評価：C】</span></p> <p><b>【今後の取組み】</b>研修会等への積極的な参加、主催研修会等の開催を今後も継続していきます。</p>

②スポーツ ボランティア の育成	平成 24 年度 目標	スポーツイベントの運営・実施や指導に関わるスポーツボランティアに関する講習会を実施し、スポーツボランティアの育成を図ります。
	令和元年度 中間評価	<p>【推進状況】スポーツボランティアの設置は行いませんでしたが、類似の活動として「海老名市スポーツ推進委員協議会」を設置しています。同協議会は、市で実施されるスポーツ・レクリエーションイベントに主体的に参画しています。また、令和元年度には、ラグビーワールドカップ大会の盛り上げとロシア代表チームの受け入れ、おもてなしのため「えびなラグビーサポーター」を創設し、市民のボランティア活動を推進しました。</p> <p>【今後の取組み】オリンピック・パラリンピックを契機に、スポーツボランティア組織の構築に向け、青年世代を中心に働きかけを行います。</p>
	令和5年度 最終評価	<p>【最終評価】令和元年度、ラグビーワールドカップ大会におけるロシア代表チームの受け入れの際、「えびなラグビーサポーター」を創設し、市民のボランティア活動を推進しました。また、新型コロナウイルス感染症により中止になりましたが、令和3年度、オリンピック聖火リレーの通過市に選定された際も、ボランティアスタッフの募集を行いました。〔評価：C〕</p> <p>【今後の取組み】記念イベント実施時などには、スポーツボランティアの募集を検討します。</p>
③海老名 文化スポーツ 表彰	平成 24 年度 目標	海老名市の文化スポーツの発展に貢献した人に対して、表彰を行います。
	令和元年度 中間評価	<p>【推進状況】文化スポーツ賞について、輝き賞を含め平成30年度は56人、令和元年度は41人が表彰されました。また、文化スポーツ賞贈呈要綱の改訂を令和元年度に行いました。</p> <p>【今後の取組み】今後も市内スポーツ選手の競技に対するモチベーションの醸成を目的に活用を図ります。</p>
	令和5年度 最終評価	<p>【最終評価】文化スポーツ賞について、令和4年度は32人・団体、5年度は61人・団体が表彰されました。また、令和4年度には、全国大会等に出場した選手に報奨金を交付する「スポーツ選手強化報奨金」制度を創設し、市内スポーツ選手の競技に対するモチベーションの醸成を図りました。〔評価：B〕</p> <p>【今後の取組み】生涯スポーツの振興、選手の競技力の向上及び選手の競技に係る経済的負担の軽減を図ることを目</p>



		的に表彰、報奨金の交付を行います。
--	--	-------------------

## (2) スポーツ活動人材の活用

- 学校・関係機関・団体等と連携し、スポーツを教えたい人を、スポーツ指導者として活躍してもらえる環境づくりを進めます。
- 市民が望ましい運動習慣を身につけられるよう、スポーツ推進委員の活動を支援します。
- スポーツに関する専門知識や技術を持っている人や、指導者として活躍している人を支援します。

事業名		内容
①スポーツ ボランティア の人材確保	平成 24 年度 目標	スポーツ活動に関してボランティアを行いたい方をボランティアバンクに登録し、様々なスポーツ関連大会への協力とスポーツの普及・周知を図ります。
	令和元年度 中間評価	<p><b>【推進状況】</b> ボランティアに特化したグループ組織はありませんが、公認キャンプ地としてロシア代表チームの受け入れのためボランティアを組織し（えびなラグビーサポーター）、ラグビーワールドカップの盛り上げとおもてなしを行いました。</p> <p><b>【今後の取組み】</b> えびなラグビーサポーター活動を踏まえながら、オリンピック、パラリンピック等の世界的スポーツ・レクリエーションイベントの協力者としてボランティア募集と育成を行います。</p>
	令和5年度 最終評価	<p><b>【最終評価】</b> 令和元年度、ラグビーワールドカップ大会ロシア代表チームの受け入れの際、「えびなラグビーサポーター」を創設し、市民のボランティア活動を推進しました。また、新型コロナウイルス感染症により中止になりましたが、令和3年度、オリンピック聖火リレーの通過市に選定された際も、運営スタッフの募集を行いました。</p> <p>(評価：C)</p> <p><b>【今後の取組み】</b> 記念イベント実施のスポーツボランティアの募集を念頭に研究を進めます。</p>
②各種スポーツ 大会への 選手派遣	平成 24 年度 目標	市の内外で行われる各種スポーツ大会へ、選手を派遣するための支援を行います。
	令和元年度 中間評価	<p><b>【推進状況】</b> 市の内外でのスポーツ大会への選手派遣は、「かながわ駅伝大会」への選手派遣にあたっての支援を毎年行っています。</p> <p><b>【今後の取組み】</b> 「かながわ駅伝大会」への派遣選手の選抜方法を改変し、健康マラソン大会等で好成績を収めた選手の派遣等を検討します。</p>

	令和5年度 最終評価	<p>【最終評価】「かながわ駅伝大会」への選手派遣にあたっては、市陸上競技協会が健康マラソン大会等で好成績を収めた選手等を選抜し、派遣を行いました。〔評価：C〕</p> <p>【今後の取組み】「かながわ駅伝大会」への派遣選手については、健康マラソン大会等で好成績を収めた選手の派遣等の他にも、選考会の実施等を検討します。</p>
③スポーツ推進 委員との連携	平成24年度 目標	市民のスポーツへの理解やスポーツ活動への参加促進に向けて、スポーツ推進委員との連携を図ります。
	令和元年度 中間評価	<p>【推進状況】市主催のスポーツ事業や市内各地で行われるスポーツ事業を、海老名市スポーツ推進委員協議会と連携して行っています。</p> <p>【今後の取組み】自治会、小学校単位等におけるスポーツ活動の輪を更に広げるための支援を、協議会と連携して行っています。</p>
	令和5年度 最終評価	<p>【最終評価】市主催のスポーツ事業のほか、小学校のサマースクール等に委員の派遣を行い、ニュースポーツの普及活動を行いました。えびな玉入れ選手権は、スポーツ推進委員の運営で開催しました。〔評価：C〕</p> <p>【今後の取組み】引き続き、自治会、小学校単位等におけるスポーツ活動の輪を更に広げるための支援を、協議会と連携して行っています。</p>
④競技団体との 連携	平成24年度 目標	市民の多様化・高度化したニーズに応えるため、競技団体と連携を図りながら、適切な指導を行うことができる指導者の確保を図ります。
	令和元年度 中間評価	<p>【推進状況】市体育協会（競技団体）は市との連携をもって活動を行っています。市長杯として、少年野球の団体予選等を行っています。</p> <p>【今後の取組み】課題としては、各団体の運営を担う役員等の高齢化があげられます。有力な後継者育成の支援を今後行っていく必要があります。また、競技団体として組織の再編を図り、活性化を促進します。</p>
	令和5年度 最終評価	<p>【最終評価】体育協会からスポーツ協会へ名称を変更し、事務所を市文化スポーツ課内から海老名運動公園陸上競技場へ移転し、組織の在り方を見直しています。役員等の高齢化については、引き続き後継者育成の支援を進めていく必要があります。〔評価：C〕</p> <p>【今後の取組み】競技団体のみならず、スポーツ協会全体として組織の在り方を検討し、活性化を促進します。また、所属している種目団体の活動を支援します。</p>

### 3-2 地域のスポーツ・レクリエーション活動との連携

**【考察】** 【評価：C】

総合型地域スポーツクラブは、市民自らが企画・運営し、利用者ニーズに柔軟に対応できる利点を効果的に生かすことができる運動・スポーツ施設であり、本市での創設を進める団体がありませんでしたが、民間スポーツクラブからの相談があり、市・県と協議を重ね、令和5年度に初めて創設に至りました。今後も課題を整理し、市内施設の創設を支援する取組みを継続していきます。

地域におけるスポーツ事業者との連携にあたっては、えびな健康マラソン大会において、本市と包括連携協定等を締結している企業等のブースを設置し、参加者にスポーツ事業者の活動内容を知ってもらう機会の提供を図りました。

地域との連携にあっては、新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ事業者の活動が縮小したままの状態が見受けられるため、市主催のスポーツ事業に積極的に関わってもらう働きかけを、今後更に促進することが必要であり重要です。

#### (1) 総合型地域スポーツクラブ創設の支援

- 総合型地域スポーツクラブの創設と育成の支援を行います。

事業名	内容	
①総合型地域 スポーツクラブ 創設の支援	平成24年度 目標	市民の手で、自主的・主体的に運営される「総合型地域スポーツクラブ」の創設に向けた支援を行います。
	令和元年度 中間評価	<p><b>【推進状況】</b>平成29年度に「取扱要領」を制定し、民間スポーツクラブから2件の相談がありましたが、創設には至っていません。</p> <p><b>【今後の取組み】</b>「取扱要領」を基に今後も相談受付、積極的なPRなど創設に向けた支援を行います。</p>
	令和5年度 最終評価	<p><b>【最終評価】</b>令和5年度に民間スポーツクラブからの相談があり、市・県と協議を重ね、「総合型地域スポーツクラブ」の創設に至りました。<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">【評価：C】</span></p> <p><b>【今後の取組み】</b>「取扱要領」を基に今後も相談受付、積極的なPRなど創設に向けた支援を行います。</p>

#### (2) スポーツを通じた交流の促進

- 地域でスポーツ・運動等に取り組む自治会や地域活動等を支援します。
- 民間事業者等と連携し、地域のスポーツ参加者の増加を図ります。
- スポーツを通じて、児童生徒の交流機会の促進を図ります。

事業名		内容
①地域団体との連携	平成24年度 目標	自治会など地域団体との連携強化に向けたモデル地域を指定し、地域間・世代間のスポーツ交流機会の充実を図ります。
	令和元年度 中間評価	<p>【推進状況】モデル地区の指定は行いませんでしたが、柏ケ谷地区、大谷地区等でニュースポーツの実施を中心としたスポーツ交流会を開催し、地域での世代間交流を図っています。</p> <p>【今後の取組み】現在活発に活動を行っていない自治会、地域団体へスポーツ活動促進の働きかけを行い、地域間・世代間のスポーツ活動交流を推進します。</p>
	令和5年度 最終評価	<p>【最終評価】モデル地区の指定には至っていませんが、柏ケ谷地区、大谷地区等のほか、各地域におけるサマースクール等にスポーツ推進委員の派遣を行いました。</p> <p>〔評価：D〕</p> <p>【今後の取組み】現在活発に活動を行っていない自治会、地域団体へスポーツ活動促進の働きかけを行い、地域間・世代間のスポーツ活動交流を推進します。</p>
②地域スポーツ事業者との連携	平成24年度 目標	民間のスポーツ関連事業者等と連携し、情報提供や合同事業の実施等を通じて、地域のスポーツ参加者の増加を図ります。
	令和元年度 中間評価	<p>【推進状況】毎年実施の健康マラソンやレクパラスポーツフェスタ（旧スポーツレクリエーションフェスティバル）の中で、市内スポーツクラブ、スポーツショップ等と連携しブース出展等を行い、市民にスポーツに対する興味を深めていただくきっかけとして、スポーツイベントへの参加者拡大を図りました。</p> <p>【今後の取組み】市内スポーツ店、スポーツクラブ等のスポーツ関連事業者との連携を更に深め、スポーツ参加者増大を図ります。</p>
	令和5年度 最終評価	<p>【最終評価】えびな健康マラソン大会や EBINA スポレクフェスタの中で、市内スポーツクラブ等と連携し参加者募集やブース出展等を行い、スポーツイベントへの参加者拡大を図りました。また、本市と包括連協定を締結している企業等の血管年齢測定等をはじめとした健康ブースの出店を行いました。〔評価：C〕</p> <p>【今後の取組み】スポーツ事業者等との連携を更に深め、スポーツ大会参加者増大を図ります。</p>

③海老名市・白石市・登別市少年少女スポーツ交流事業	平成24年度 目標	海老名市と都市間交流事業を行っている宮城県白石市、北海道登別市と、スポーツを通じた児童生徒の交流を推進します。
	令和元年度 中間評価	<p>【推進状況】ソフトテニス・剣道は隔年で宮城県白石市を訪れ、交流試合等でスポーツを通じた相互交流を行っています。水泳・少年野球は毎年お互いの市を行き来し、同じスポーツを通して遠く離れた友達づくりを行っています。平成27年7月には、北海道登別市に子供20名、指導者5名が出向き、地元の子ども達との交流を図りました。</p> <p>【今後の取組み】毎年盛んに実施される各少年少女スポーツクラブの白石市との交流を更に支援し、登別市との交流事業の発展を検討します。更に、災害協定締結自治体との連携によりスポーツ交流事業を検討します。</p>
	令和5年度 最終評価	<p>【最終評価】白石市・登別市のみならず、令和4年度には、相互応援協定都市である群馬県太田市とのスポーツ交流（少年野球、ミニバスケットボール、少年サッカー）を実施しました。【評価：C】</p> <p>【今後の取組み】白石市・登別市との交流事業は、方策等の見直しを図り、相互応援協定都市との交流策の一つとしてスポーツ交流を活用します。</p>

### 3-3 競技スポーツの充実

#### 【考察】 【評価：C】

令和元年度には、「ラグビーワールドカップ2019」の開催に伴い、公認キャンプ地としてロシア代表チームの受け入れを行いました。市民との交流イベントでは、海老名運動公園陸上競技場にて、ロシア代表選手と市内中学校ラグビー部の生徒や小学校児童が世界レベルの選手と交流を行いました。

また、令和4年度には、アメリカンフットボールチーム「富士フイルム海老名 MinervaAFC」と包括連携協定を締結し、公式試合への市民無料招待や、子どもたちへの体験教室など、プロスポーツ選手との交流を促進しました。

今後も継続して、一流のスポーツ選手のプレーを観ることや、交流できる体験の場の創設を行う必要がありますが、それに合わせた施設の整備も課題です。

#### (1) 「みるスポーツ」の充実

- スポーツ関連団体、事業者等と連携し、各種スポーツ大会の観戦や情報提供など「みるスポーツ」機会の充実を図ります。
- 一流のスポーツ選手の技能を間近に見ることによって、高度なスポーツへの関心を高めます。

事業名		内容
①高度スポーツ 誘致	平成24年度 目標	高度なスポーツ技術を持った選手と市民が身近に触れ合うことができるよう、高度スポーツの誘致を推進します。
	令和元年度 中間評価	<p>【推進状況】令和元年には「ラグビーワールドカップ2019」開催に伴い、公認キャンプ地としてロシア代表チームを受け入れました。市民との交流イベントについては、世界レベルのラグビー選手との深い交流を行うことができました。また、レクパラスポーツフェスタなどのイベントにパラリンピアンまたは、その有力候補選手をお招きし、競技指導をいただきました。</p> <p>【今後の取組み】東京オリンピックの小学生ツアーの計画の他、レクパラスポーツフェスタ、健康マラソン等を中心に、今後もオリンピック、パラリンピアン、パラリンピアンなどの招致を積極的に行います。</p>
	令和5年度 最終評価	<p>【最終評価】新型コロナウイルス感染症の影響により、実現しませんでした。聖火リレー通過時の市内中学校・高校による沿道応援の企画や、令和3年度には、Jリーグプロサッカーチーム「SC 相模原」のホームタウン化や、令和4年度には、アメリカンフットボールチーム「富士フィルム海老名 MinervaAFC」と包括連携協定を締結し、公式試合への市民の無料招待を実施しました。〔評価：B〕</p> <p>【今後の取組み】えびな健康マラソン大会や EBINA スポレクフェスタ等を中心に、今後もオリンピック、パラリンピアン、プロスポーツ選手の招致を推進します。</p>
②プロスポーツ 選手との 交流促進	平成24年度 目標	一流のスポーツ選手の技能を間近に見る機会の充実を通じて、高度なスポーツへの関心を高めます。
	令和元年度 中間評価	<p>【推進状況】元プロ野球選手による海老名市の中学生を対象にした野球教室、小学生から中学生を対象とした、プロバスケットボールチーム・横浜ビーコルセアーズによるバスケットボール教室を開催しました。</p> <p>【今後の取組み】海老名市出身のプロゴルファー堀川未来夢選手などのプロスポーツ選手との交流を促進し、東京オリンピック、パラリンピックを契機として、スポーツイベントにオリンピック、パラリンピアンなどの一流選手を招待し交流を促進します。</p>
	令和5年度 最終評価	<p>【最終評価】包括連携協定を締結した「富士フィルム海老名 MinervaAFC」の選手と市内小学生がフラッグフットボール教室にて交流を実施しました。〔評価：D〕</p> <p>【今後の取組み】包括連携協定等を締結したチームや本市にゆかりのあるプロスポーツ選手との交流を促進します。</p>

## (2) 競技力の向上

- 本市からトップアスリートを輩出する環境づくりに向けて、体育協会と加盟競技団体と連携して指導者の育成を図るなど、本市のスポーツ競技力向上に努めます。

事業名	内容
①競技団体との連携強化	<p>平成 24 年度 目標</p> <p>本市からトップアスリートを輩出する環境づくりに向けて体育協会と加盟競技団体と連携し、本市のスポーツ競技力の向上に努めます。</p>
	<p>令和元年度 中間評価</p> <p><b>【推進状況】</b>本市出身者で、世界レベルで活躍する選手（卓球、テコンドー、バドミントン等）の輩出がありました。対象選手に「オリンピック強化指定選手報奨金」を交付しました。 <b>【今後の取組み】</b>世界レベルの選手の輩出に向け、引き続き体育協会と加盟競技団体と連携し支援を行います。</p>
	<p>令和5年度 最終評価</p> <p><b>【最終評価】</b>競技団体との連携にあたっては、スポーツ協会と連携をして活動を行っています。「オリンピック強化指定選手報奨金」の運用を見直し、全国大会等に出場した選手に報奨金を交付する「スポーツ選手強化報奨金」制度を創設しました。 <b>（評価：C）</b> <b>【今後の取組み】</b>引き続きスポーツ協会と連携し支援を行います。生涯スポーツの振興、選手の競技力の向上及び選手の競技に係る経済的負担の軽減を図ることを目的に報奨金制度を継続します。</p>
②優れた指導者の育成	<p>平成 24 年度 目標</p> <p>国・県の派遣事業などを活用し、高度で適切な指導方法を身につけた指導者の育成を図ります。</p>
	<p>令和元年度 中間評価</p> <p><b>【推進状況】</b>神奈川アスリートネットワークから毎年パラリンピアンや世界レベルのアスリートを招待し、スポーツ指導を受けています。 <b>【今後の取組み】</b>世界レベルのアスリートからの指導経験をきっかけに適切で高度な指導力を持った指導者育成の支援を行います。ラグビーロシア代表チームとの交流は世界レベルの技術と能力を間近で体験することができ、参加した市民にとって競技に取り組むモチベーションの向上に寄与しました。こうした一流スポーツ選手との交流はスポーツ指導者にとっても効果は高いと考えられることから、機会を捉えて高度レベル競技者との交流を図ることによる有能な指導者育成のツールの一つとして活用していきます。</p>
	<p>令和5年度 最終評価</p> <p><b>【最終評価】</b>令和元年度に開催したレクパラスポーツフェスタでは、神奈川アスリートネットワークからパラリンピアン等を招待し、スポーツ指導を受けました。また、市スポーツ協</p>

		<p>会では、所属競技団体を対象に、スポーツ指導者等を招き、講演会を実施しています。〔評価：C〕</p> <p>【今後の取組み】神奈川アスリートネットワークについては、有能な指導者育成のツールの一つとして、引き続き活用を検討していきます。</p>
--	--	---



(富士フイルム海老名 MinervaAFC)



## 参考 目標指標と目標値について

ライフステージにおける目標指標と目標値					
目標指標	世代区分	ベースライン (H24年度)	中間 評価値	最終 評価値	目標値
天気の良い日は外で遊ぶ	—	81.5%	86.7%	67.7%	90%
1日当たり30分以上のスポーツ・運動をしていない人の減少	成人	20.6%	25.8%	63.5%	ゼロに近づける
学校や地域のスポーツクラブで活動している割合の増加	—	70.8%	78.7%	48.7%	80%
この1年間で30分以上運動した日数が、週に2日以上	高齢者	70.4%	76.0%	74.2%	80%
フライング・ディスクの参加者数	—	334人	未実施	未実施	450人
介護ボランティアポイント事業参加者数	高齢者	—	154人	191人	280人
市スポーツ関連ホームページのアクセス数	—	89,671件 (H23年度)	107,235件 (H30年度)	107,541件 (※)	100,000件
スポーツや運動をする環境の満足度向上	—	24.4%	37.7%	39.3%	40%
運動する習慣を持つ (運動部含む)	児童	83.9%	70.6%	57.1%	95%
	中学生	70.5%	75.0%	71.4%	80%
直接スポーツ観戦を行った人の増加	中学生	36.8%	38.9%	14.2%	65%以上
	高校生	34.8%	47.2%	20.5%	65%以上
	青年期	22.7%	1.4%	30.6%	65%以上
	壮年期	20.5%	8.3%	37.6%	65%以上
	高齢期	14.3%	4.2%	22.8%	65%以上
世界的に活躍できるトップアスリートを輩出する	—	—	オリンピック・パラリンピック代表候補の輩出はない	オリンピック・パラリンピック代表候補の輩出はない	オリンピック・パラリンピック代表の輩出

(※) データ保存期間の都合上、令和4年9月29日～令和5年3月31日までの集計実績となります。

海老名市スポーツ健康推進計画  
最終評価報告書  
(スポーツ推進計画部分)

令和6年3月

発行：海老名市

編集：海老名市 市民協働部

文化スポーツ課 スポーツ振興係

〒243-0492 海老名市勝瀬 175 番地の 1

Tel 046-235-4927